

5 魅力創造の方針の検討

5.1 基本方針の設定

前章で整理した当地区の課題を踏まえ、基本構想策定の目標を定め、目標を達成するための3つの基本方針を設定した。

目 標

賑わいと豊かな自然・文化が共存する 誰もが魅力を感じる空間の創造

西部海岸地区の多様な魅力の磨き上げと活用により
誰もが訪れたい空間を形成する。

基本方針

- **地域資源を活用した観光の促進**
観光施設や特産品、豊かな自然・文化などの地域資源を活用し、観光を促進する。
- **来訪者と市民が集える憩いの場の形成**
既存施設を活用し、地域への来訪者や市民双方が交流できる憩いの場を形成する。
- **地域特性に応じた自然・景観の形成**
地域の特性に応じた、周囲と調和がとれた自然・景観を形成する。

5.2 エリア別の方針の設定

地域の類似する資源により、西部海岸地区を3つのエリアに分類した。

前節で設定した目標と基本方針を踏まえ、分類したエリア毎の方針と施策を策定した。

自然・歴史体験エリア

自然・歴史体験エリアは、高崎山や柞原八幡宮などの豊かな自然・歴史資源、田ノ浦びわなどの特産物を有した地域である。当エリアでは、魅力創造に向けて、既存の地域資源の活用や自然環境の保全、周囲と調和のとれた景観の形成を図る。

■ 自然・文化や地域特産物など既存の地域資源を活用した交流の促進

高崎山や柞原八幡宮や田ノ浦びわなど豊かな既存の地域資源を活用し、来訪者と地域の交流を促すような取組みを実施する。

【施策】○高崎山(セラピーロード)や柞原八幡宮、大楠を活用した自然・歴史体験プログラムの開発
○田ノ浦びわを活用した体験プログラムや加工品などの開発

■ 豊かな自然環境の保全と自然・文化と調和のとれた景観の形成

高崎山周辺の豊かな自然を保全しつつ、柞原八幡宮などの歴史資源と調和のとれた景観を形成する。

【施策】○高崎山周辺の自然環境の保全を図るとともに、自然・文化と調和のとれた景観の形成

海辺の体験エリア

海辺の体験エリアは、高崎山自然動物園や大分マリンパレス水族館うみたまご・田ノ浦ビーチなど、集客力のある観光施設が集積しており、本市の観光における玄関口としての役割を担う地域である。当エリアでは、魅力創造に向けて、観光施設の魅力の磨き上げや情報発信機能の確保、既存施設の活用などによる賑わいや交流の場の創出を図るとともに、背後の自然との調和のとれた景観の形成を図る。

■ ■ 集客力のある観光施設の魅力の磨き上げと年間を通じた賑わいの創出

高崎山自然動物園や大分マリンパレス水族館うみたまご、田ノ浦ビーチなどの集客力のある観光施設の魅力を更に磨き上げ、年間を通じた当地区への来訪者を獲得するなど、賑わいを創出する取組みを実施する。

【施策】○観光施設の更なる魅力の磨き上げと活用

■ ■ 観光における本市の玄関口としての機能の確保による賑わいの創出と周遊の促進

賑わいを創出するため、情報提供機能を確保し、地区内の周遊を促進する。

【施策】○観光における本市の玄関口として、地域資源や情報の発信・提供機能及び休憩機能を担い、森林セラピーやサイクリングなどの拠点となる憩い・交流拠点施設の整備
○桜公園や T-wave・田ノ浦ビーチなどを結ぶ歩行者動線の確保
○地域の玄関口となる新駅の検討の実施
○国道 10 号等において、歩行者、自転車利用者等が安全・快適に移動できる道路空間の環境整備

■ 既存資源を活用した交流の場の形成

十分に活用されていない T-wave や別府湾の眺望などを有効に活用し、来訪者や地域の交流の場を形成する。

【施策】○T-wave を活用した市民が集える場の形成
○桜公園等、かつてあった施設の整備による魅力づくり
○風光明媚な風景が広がる別府湾を活かし、昼夜を問わず眺望出来るビューポイントの整備

■ 沿岸部と背後の自然が調和のとれた景観の形成

観光施設が集約している沿岸部と背後に広がる高崎山の自然とが、分断されないように沿岸部と背後の自然が調和のとれた景観を形成する。

【施策】○沿岸部と背後の高崎山が調和のとれた景観の形成

みなとオアシスエリア

みなとオアシスエリアは、遊休化倉庫をリノベーションした商業・文化施設や西大分駅や大分港などの公共交通機関が集積した九州の東の玄関口としての役割を担う地域である。当エリアでは、魅力創造に向けて、既存施設の活用による賑わいの創出やゲートウェイ機能の強化による連携・周遊の促進を図るとともに、ウォーターフロントを中心とした良好な景観を形成し、洗練された高質な空間創造を図る。

■ ■ 既存施設を活用した洗練された空間の創造による賑わいの創出

かんたん港園内の商業施設や文化施設、遊休化倉庫のリノベーションなど既存施設の活用により、洗練された空間を創造し、賑わいを創出する。

- 【施策】 ○かんたん港園内のライブハウスやイベントホールなどの施設を活用したイベントの開催
○遊休化倉庫を活用した来訪者や市民の交流の場の形成
○工場夜景を楽しむナイトクルーズ企画などの実施

■ ■ 九州の東の玄関口としてのゲートウェイ機能の強化・充実による連携・周遊の促進

西大分駅や大分港などの公共交通機関が集積し、ホーパークラフトターミナルにより空の玄関口である大分空港と連携される立地を活かし、周辺との連携や周遊を促進する。

- 【施策】 ○JR 西大分駅と国道 10 号、大分港(西大分地区)が効果的に連携する交通機能の強化
○西大分駅や大分市中心部から大分港までの動線の確保
○かんたん港園、ホーパークラフトターミナル、国道 10 号、JR 西大分駅周辺が連携し、みなとオアシスとしての景観形成を図るなど、地域活性化に繋がる交流の場の創出
○かんたん港園やフェリー乗場、ホーパークラフトターミナル周辺の交通円滑化及び動線の確保

■ ウォーターフロントにふさわしい高質な空間の形成

開放的で親水性の高いウォーターフロントにふさわしい高質な空間を形成する。

- 【施策】 ○ウォーターフロントを中心とした良好な景観の形成
○良好な景観を楽しむ事ができるかんたん港園やホーパークラフトターミナルなどの視点場としての活用

全域

西部海岸地区は、豊富な観光資源があるものの、知名度が低く、資源の連携も図られていない。また、観光を推進する体制や来訪者の受入環境も不十分である。このため、観光の促進に向けて、地区の魅力についての情報発信や観光促進の体制づくり、受入環境の整備を進める。また、来訪者の長期滞在や周遊を促す取り組み、観光資源の連携・周遊性の強化を図る。

■ 戦略的な情報発信

多様な媒体や手法を用い、西部海岸地区の魅力の情報を発信する。

- 【施策】 ○マスメディアやSNSなどの多様な媒体及びインフルエンサーの活用
○本地区を舞台とした映画、ドラマ、アニメ等を活用した観光プロモーションの実施
○官民連携・協働により、観光・物産フェアを活用した観光プロモーションの実施

■ 観光を促進する体制づくり

民間や行政、その他の団体などが連携し、観光を促進する体制を構築する。

- 【施策】 ○市民、地域、NPO 団体、観光関連事業者、大分市観光協会、行政の役割の明確化や相互の連携・協働の推進

■ ■ ■ 来訪者の長期滞在を促す取り組みの実施

来訪者の滞在時間を延ばす(長期滞在)ための取り組みを実施する。

- 【施策】 ○グリーンツーリズム等の滞在型観光の推進
○広域周遊ルートや旅行商品の創出

■ ■ 地域資源の連携促進や周遊性の強化

豊かな自然・文化や多様なレクリエーション施設などの地域資源の連携の促進し、周遊性の強化を図る。

- 【施策】 ○本地区内における観光施設等が連携し地区全体を盛り上げるイベント等の実施や共通入場券等の導入
○県内の市町村と連携し、それぞれの観光特性を取り入れた広域観光周遊ルートの形成

- 本地区内、別府市、大分市中心部を結ぶ自転車走行空間の確保とサイクルポートの整備
- 自動運転やモビリティシステムの導入に向けた検討

■ ■ **来訪者の受入環境の整備**

来訪者が快適に過せるように受入環境を整備する。

- 【施策】
- Wi-Fi 環境の整備
 - 観光案内板、公共交通機関の多言語化
 - 新たな観光需要を掘り起こす取組みの開発
 - 観光関係事業者等のさらなるおもてなし力の向上

西部海岸地区の5つの課題

課題【ア】

地域資源の磨き上げと活用による
賑わいの創出が必要

課題【イ】

地域の特性に応じた
良好な景観の形成が必要

課題【ウ】

観光を推進する体制づくりや
戦略的な情報発信が必要

課題【エ】

地域資源の連携・周遊の促進や
来訪者の長期滞在を促す取り組みが必要

課題【オ】

快適な観光空間構築のための
来訪者の受入環境の整備が必要

西部海岸地区の魅力創造の基本方針

目標

賑わいと豊かな自然・文化が共存する
誰もが魅力を感じる空間の創造

西部海岸地区の多様な魅力の磨き上げと活用により
誰もが訪れたい空間を形成する。

基本方針

- 地域資源を活用した**観光**の促進
・観光施設や特産品、豊かな自然・文化などの地域資源を活用し、観光を促進する。
- 来訪者と市民が集える**憩い**の場の形成
・既存施設を活用し、地域への来訪者や市民双方が交流できる憩いの場を形成する。
- 地域特性に応じた**自然・景観**の形成
・地域の特性に応じた、周囲と調和のとれた自然・景観を形成する。

エリア別の方針

各エリア共通の方針

- **戦略的な情報発信**
【施策】①マスメディアやSNSなどの多様な媒体及びインフルエンサーの活用
②本地区を舞台とした映画、ドラマ、アニメ等を活用した観光プロモーションの実施
③官民連携・協働により、観光・物産フェアを活用した観光プロモーションの実施
- **来訪者の長期滞在を促す取り組みの実施**
【施策】⑤グリーンツーリズム等の滞在型観光の推進
⑥広域周遊ルートや旅行商品の創出
- **来訪者の受入環境の整備**
【施策】①Wi-Fi環境の整備
②観光案内板、公共交通機関の多言語化
③新たな観光需要を掘り起こす取り組みの開発
④観光関係事業者等のさらなるおもてなし力の向上
- **観光を促進する体制づくり**
【施策】④市民、地域、NPO団体、観光関連事業者、大分市観光協会、行政の役割の明確化や相互の連携・協働の推進
- **地域資源の連携促進や周遊性の強化**
【施策】⑦本地区内における観光施設等が連携し地区全体を盛り上げるイベント等の実施や共通入場券等の導入
⑧県内の市町村と連携し、それぞれの観光特性を取り入れた広域観光周遊ルートの形成
⑨本地区内、別府市、本市中心部を結ぶ自転車走行空間の確保とサイクルポートの整備
⑩自動運転やモビリティシステムの導入に向けた検討

自然・歴史体験エリア（内陸部）

- **自然・文化や地域特産物など既存の地域資源を活用した交流の促進**
【施策】①高崎山（セラピーロード）や杵原八幡宮、大楠を活用した自然・歴史体験プログラムの開発
②田ノ浦びわを活用した体験プログラムや加工品などの開発
- **豊かな自然環境の保全と自然・文化と調和のとれた景観の形成**
【施策】③高崎山周辺の自然環境の保全を図るとともに、自然・文化と調和のとれた景観の形成

海辺の体験エリア（沿岸部）

- **集客力のある観光施設の魅力の磨き上げと年間を通じた賑わいの創出**
【施策】①観光施設の更なる魅力の磨き上げと活用
- **観光における本市の玄関口としての機能の確保による賑わいの創出と周遊の促進**
【施策】②観光における本市の玄関口として、地域資源や情報の発信・提供機能及び休憩機能を担い、森林セラピーやサイクリングなどの拠点となる憩い・交流拠点施設の整備
③桜公園やT-wave・田ノ浦ビーチなどを結ぶ歩行者動線の確保
④地域の玄関口となる新駅の検討の実施
⑤国道10号等において、歩行者、自転車利用者等が安全・快適に移動できる道路空間の環境整備
- **既存資源を活用した交流の場の形成**
【施策】⑥T-waveを活用した市民が集える場の形成
⑦桜公園等、かつてあった施設の整備による魅力づくり
⑧風光明媚な風景が広がる別府湾を活かし、昼夜を問わず眺望出来るビューポイントの整備
- **沿岸部と背後の自然が調和のとれた景観の形成**
【施策】⑨沿岸部と背後の高崎山が調和のとれた景観の形成

みなとオアシスエリア（大分港周辺）

- **既存施設を活用した洗練された空間の創造による賑わいの創出**
【施策】①かんたん港園内のライブハウスやイベントホールなどの施設を活用したイベントの開催
②遊休化倉庫を活用した来訪者や市民の交流の場の形成
③工場夜景を楽しむナイトクルーズ企画などの実施
- **九州の東の玄関口としてのゲートウェイ機能の強化・充実による連携・周遊の促進**
【施策】④JR西大分駅と国道10号、大分港（西大分地区）が効果的に連携する交通機能の強化
⑤西大分駅や大分市中心部から大分港までの動線の確保
⑥かんたん港園、ホーパークラフトターミナル、国道10号、JR西大分駅周辺が連携し、みなとオアシスとしての景観形成を図るなど、地域活性化に繋がる交流の場の創出
⑦かんたん港園やフェリー乗場、ホーパークラフトターミナル周辺の交通円滑化及び動線の確保
- **ウォーターフロントにふさわしい高質な空間の形成**
【施策】⑧ウォーターフロントを中心とした良好な景観の形成
【施策】⑨良好な景観を楽しむことができるかんたん港園やホーパークラフトターミナルなどの視点場としての活用

▼ 西部海岸地区の魅力創造の方針図

- ◆ 各地区の地域特性等に応じ3つのエリアに分類
- ◆ 西部海岸地区の交流促進や賑わいの創出などの魅力創造の方針をエリアごとに整理

基本方針

- 地域資源を活用した観光の促進
- 来訪者と市民が集える憩いの場の形成
- 地域特性に応じた自然・景観の形成

海辺の体験エリア(沿岸部)の方針

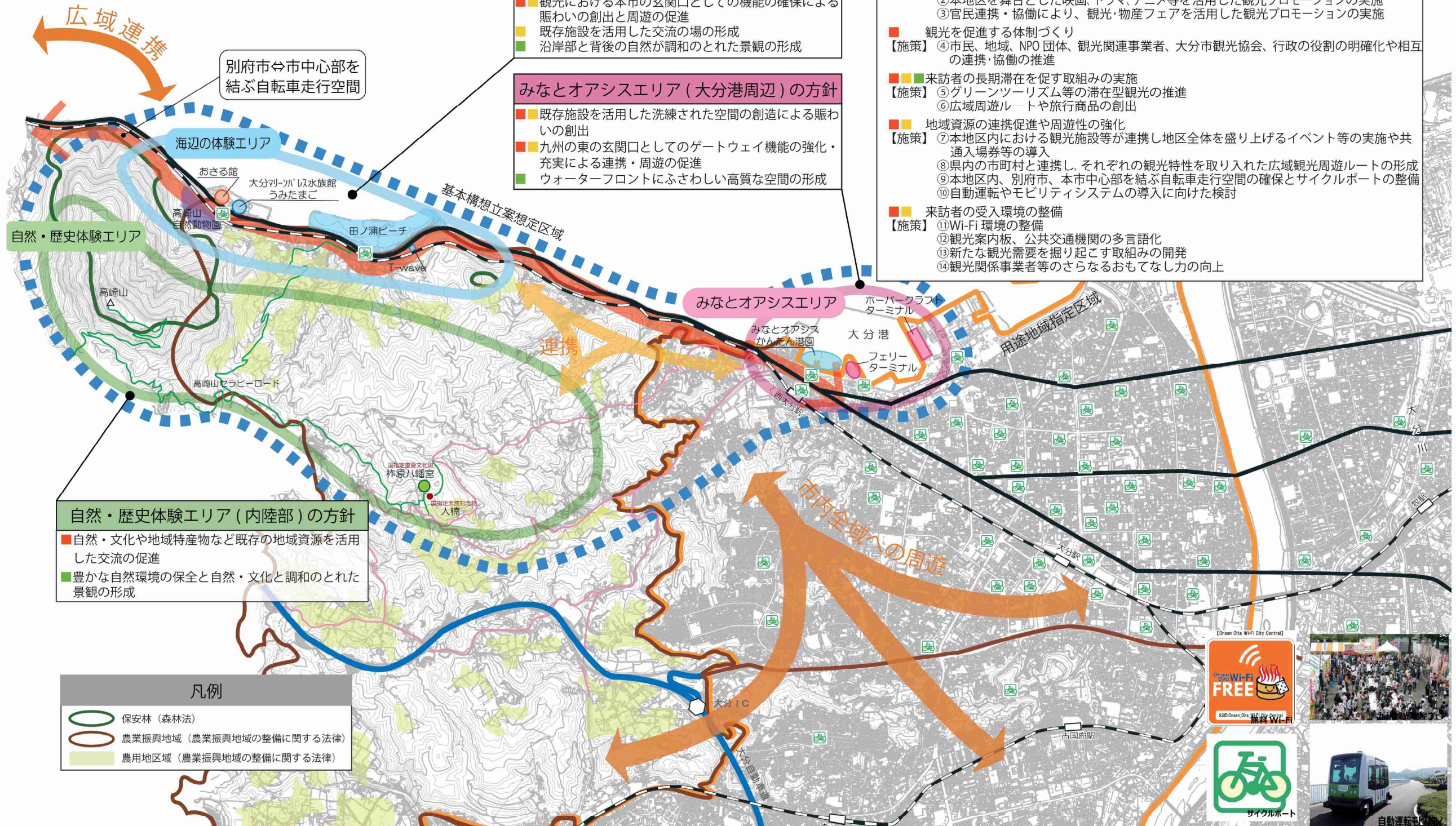
- 集客力のある観光施設の魅力の磨き上げと年間を通じた賑わいの創出
- 観光における本市の玄関口としての機能の確保による賑わいの創出と周遊の促進
- 既存施設を活用した交流の場の形成
- 沿岸部と背後の自然が調和のとれた景観の形成

みなとオアシスエリア(大分港周辺)の方針

- 既存施設を活用した洗練された空間の創造による賑わいの創出
- 九州の東の玄関口としてのゲートウェイ機能の強化・充実による連携・周遊の促進
- ウォーターフロントにふさわしい高質な空間の形成

各エリア共通の方針

- 戦略的な情報発信
 - 【施策】 ① マスメディアやSNSなどの多様な媒体及びインフルエンサーの活用
 - ② 本地区を舞台とした映画、ドラマ、アニメ等を活用した観光プロモーションの実施
 - ③ 官民連携・協働により、観光・物産フェアを活用した観光プロモーションの実施
- 観光を促進する体制づくり
 - 【施策】 ④ 市民、地域、NPO 団体、観光関連事業者、大分市観光協会、行政の役割の明確化や相互の連携・協働の推進
- 来訪者の長期滞在を促す取組みの実施
 - 【施策】 ⑤ グリーンツーリズム等の滞在型観光の推進
 - ⑥ 広域周遊ルートや旅行商品の創出
- 地域資源の連携促進や周遊性の強化
 - 【施策】 ⑦ 本地区内における観光施設等が連携し地区全体を盛り上げるイベント等の実施や共通入場券等の導入
 - ⑧ 県内の市町村と連携し、それぞれの観光特性を取り入れた広域観光周遊ルートの形成
 - ⑨ 本地区内、別府市、本市中心部を結ぶ自転車走行空間の確保とサイクルポートの整備
 - ⑩ 自動運転やモビリティシステムの導入に向けた検討
- 来訪者の受入環境の整備
 - 【施策】 ⑪ Wi-Fi 環境の整備
 - ⑫ 観光案内板、公共交通機関の多言語化
 - ⑬ 新たな観光需要を掘り起こす取組みの開発
 - ⑭ 観光関係事業者等のさらなるおもてなし力の向上



- 自然・歴史体験エリア(内陸部)の方針
- 自然・文化や地域特産物など既存の地域資源を活用した交流の促進
 - 豊かな自然環境の保全と自然・文化と調和のとれた景観の形成

- 凡例
- 保安林(森林法)
 - 農業振興地域(農業振興地域の整備に関する法律)
 - 農用地区域(農業振興地域の整備に関する法律)

▼ 自然・歴史体験エリアの魅力創造の方針図

基本方針

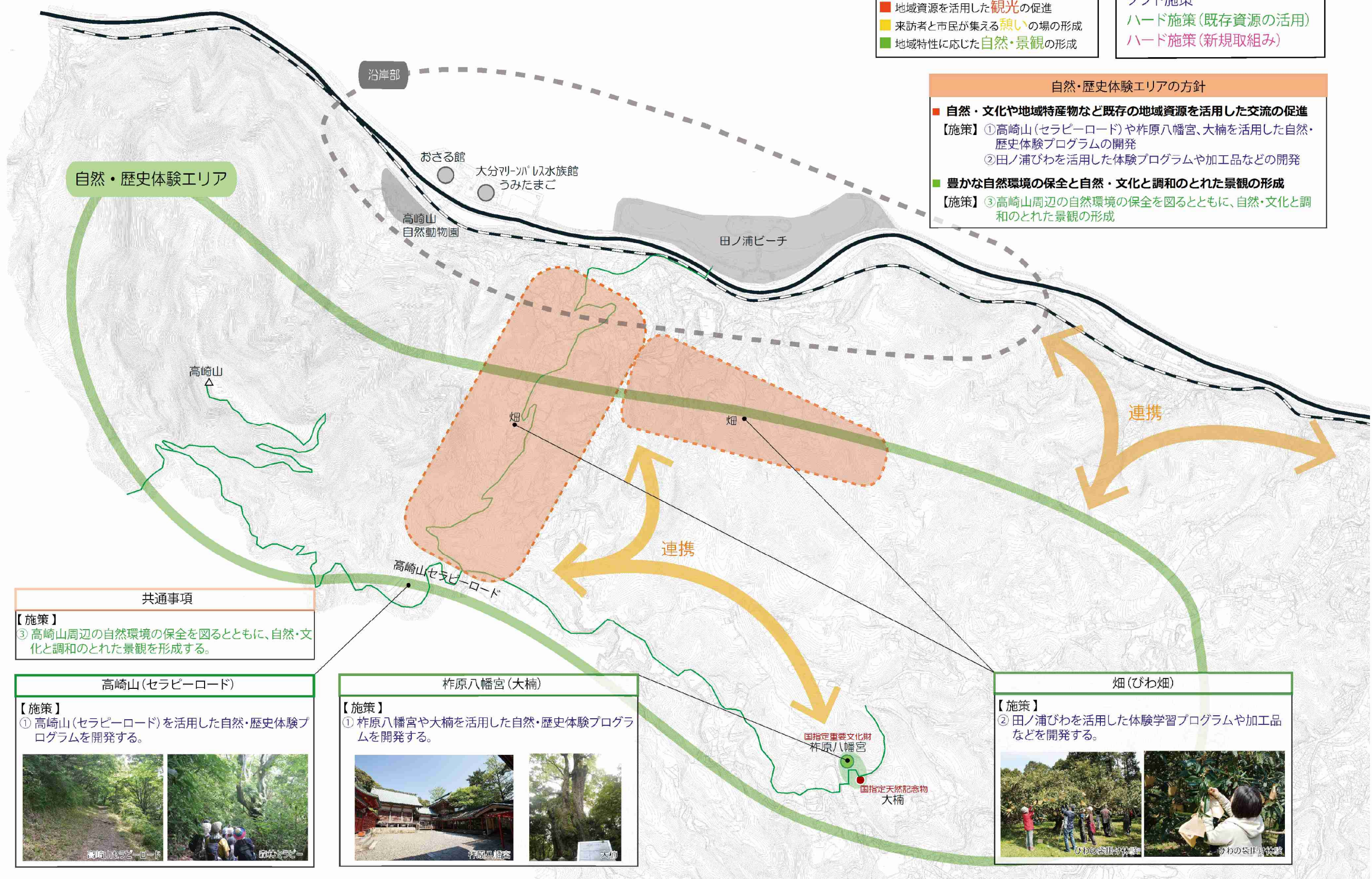
- 地域資源を活用した観光の促進
- 来訪者と市民が集える憩いの場の形成
- 地域特性に応じた自然・景観の形成

ソフト施策

- ハード施策(既存資源の活用)
- ハード施策(新規取組み)

自然・歴史体験エリアの方針

- 自然・文化や地域特産物など既存の地域資源を活用した交流の促進
【施策】 ①高崎山(セラピーロード)や柞原八幡宮、大楠を活用した自然・歴史体験プログラムの開発
②田ノ浦びわを活用した体験プログラムや加工品などの開発
- 豊かな自然環境の保全と自然・文化と調和のとれた景観の形成
【施策】 ③高崎山周辺の自然環境の保全を図るとともに、自然・文化と調和のとれた景観の形成



自然・歴史体験エリア

共通事項

【施策】
③ 高崎山周辺の自然環境の保全を図るとともに、自然・文化と調和のとれた景観を形成する。

高崎山(セラピーロード)

【施策】
① 高崎山(セラピーロード)を活用した自然・歴史体験プログラムを開発する。



柞原八幡宮(大楠)

【施策】
① 柞原八幡宮や大楠を活用した自然・歴史体験プログラムを開発する。



畑(びわ畑)

【施策】
② 田ノ浦びわを活用した体験学習プログラムや加工品などを開発する。



▼ 海辺の体験エリアの魅力創造の方針図

基本方針

- 地域資源を活用した観光の促進
- 来訪者と市民が集える憩いの場の形成
- 地域特性に応じた自然・景観の形成

ソフト施策

- ハード施策(既存資源の活用)
- ハード施策(新規取組み)

海辺の体験エリアの方針

- 集客力のある観光施設の魅力の磨き上げと年間を通じた賑わいの創出
- 【施策】①観光施設の更なる魅力の磨き上げと活用
- 観光における本市の玄関口としての機能の確保による賑わいの創出と周遊の促進
- 【施策】②観光における本市の玄関口として、地域資源や情報の発信・提供機能及び休憩機能を担い、森林セラピーやサイクリングなどの拠点となる憩い・交流拠点施設の整備
- ③桜公園やT-wave・田ノ浦ビーチなどを結ぶ歩行者動線の確保
- ④地域の玄関口となる新駅の検討の実施
- ⑤国道10号等において、歩行者、自転車利用者が安全・快適に移動できる道路空間の環境整備
- 既存資源を活用した交流の場の形成
- 【施策】⑥T-waveを活用した市民が集える場の形成
- ⑦桜公園等、かつてあった施設の整備による魅力づくり
- ⑧風光明媚な風景が広がる別府湾を活かし、昼夜を問わず眺望できるビューポイントの整備
- 沿岸部と背後の自然が調和のとれた景観の形成
- 【施策】⑨沿岸部と背後の高崎山が調和のとれた景観の形成

憩い・交流拠点施設の設置

- 【施策】②観光における本市の玄関口として、地域資源や情報の発信・提供機能及び休憩機能を担い、森林セラピーやサイクリングなどの拠点となる憩い・交流拠点施設を整備する。

田ノ浦ビーチ(恋人の聖地)

【施策】
① 観光施設の更なる魅力の磨き上げと活用を図る。




歩行者動線の確保

【施策】
③ 桜公園やT-wave・田ノ浦ビーチなどを結ぶ歩行者動線を確保する。

大分マリンパレス水族館 うみたまご

【施策】
① 観光施設の更なる魅力の磨き上げと活用を図る。

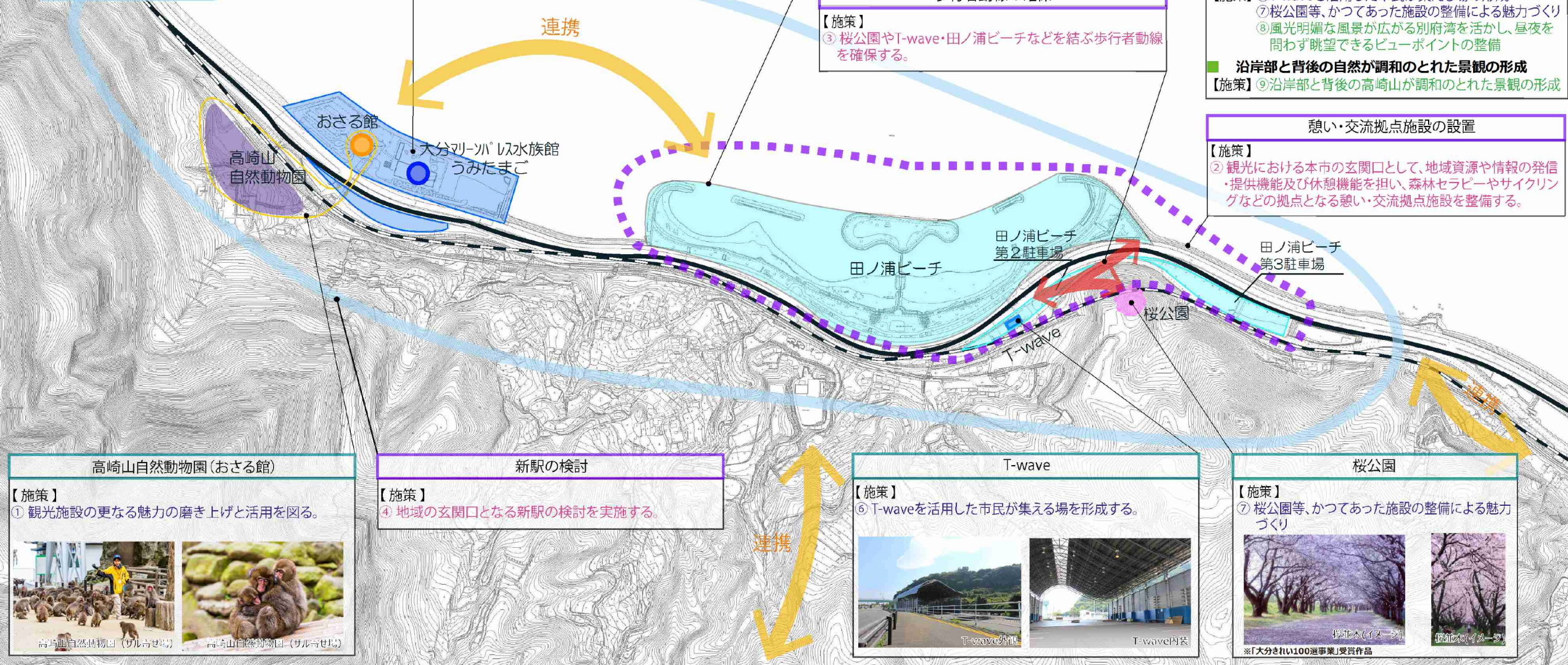


共通事項

【施策】
⑧ 風光明媚な風景が広がる別府湾を活かし、昼夜を問わず眺望出来るビューポイントを整備する。
⑨ 沿岸部と背後の高崎山が調和のとれた景観を形成する。



海辺の体験エリア



高崎山自然動物園(おさる館)

【施策】
① 観光施設の更なる魅力の磨き上げと活用を図る。



新駅の検討

【施策】
④ 地域の玄関口となる新駅の検討を実施する。

T-wave

【施策】
⑥ T-waveを活用した市民が集える場を形成する。



桜公園

【施策】
⑦ 桜公園等、かつてあった施設の整備による魅力づくり



▼ みなとオアシスエリアの魅力創造の方針図

